2022 年度
集中治療専門医研修施設調査報告

2023 年 4 月 24 日

一般社団法人日本集中治療医学会
ICU 機能評価委員会

1 目的

日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設の実態（病床数、医師とりわけ集中治療医、メディカルスタッフなど）、診療内容、および患者転帰を明らかにする。なお、本調査は、日本集中治療医学会 ICU 機能評価委員会の事業として 2018 年から継続実施し、2019 年度より集中治療専門医研修施設は参加が必須となっている。

2 調査対象と方法

- 日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設
- 2022年4月1日時点の認定381施設より，認定辞退を表明もしくは認定保留を除いた375施設を対象とした。
- 調査の一部を、外部委託とした(特定非営利法人集中治療コラボレーションネットワーク)
- 調査項目
  - 調査に先立ち、2022年5月に施設調査合理化タスクフォースを立ち上げ、本年度調査項目の選定作業を行った。
  - 選定作業では、本学会の委員会等が個別に実施している施設調査に対応する会員の負担を軽減すべく、ICU機能評価委員会の年次調査への統合を図った。
- 調査時期
  - 2021年9月12日～2023年1月10日
- 調査方法
  - 調査担当者（8月10日依頼，8月20日締切）と調査票（9月12日依頼，10月11日締切）の2段階調査を行った。
  - 各施設の責任者・調査担当者宛に電子メールで調査協力を依頼し、Web調査票を用いて回答するよう依頼した。
  - Web調査票の未ログイン施設や入力中の施設については、電子メールないしは電話連絡にて調査協力の依頼を繰り返し行った。
  - 各施設における現状(患者関連データについては2021年データ、病床数・職員数は2022年9月1日時点)を収集した。
  - 調査票データの確認作業を行い、内容に疑義があるものについて各施設に修正を依頼した。

3 結果

3.1 施設実態

3.1.1 調査対象施設：375 施設(前年比 +9 施設)

3.1.2 主な医療保険区分：

特定集中治療室管理料 1 または 2	204 施設	（前年比 +10 施設）
特定集中治療室管理料 3 または 4	89 施設	（前年比 −4 施設）
救命救急入院料 2 または 4	69 施設	（前年比 −1 施設）
小児特定集中治療管理料	13 施設	（前年比 +4 施設）

3.1.3 回答施設：375 施設

3.1.4 回答率 ：100%

3.2 病院施設の概要、他の施設認定等

3.2.1 施設タイプ(375 施設)

公的病院　22.9%(86 施設)
公立大学　4.3%(16 施設)
公立病院　19.2%(72 施設)
国立大学　14.7%(55 施設)
国立病院　4.0%(15 施設)
私立大学　19.5%(73 施設)
私立病院　15.5%(58 施設)

3.2.2 各施設の病院病床数(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数])

特定集中治療室管理料 1 または 2 (204 施設)　618 床 [502-815]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)　513 床 [421-673]
救命救急入院料 2 または 4 (69 施設)　660 床 [519-919]
小児特定集中治療室管理料(13 施設)　316 床 [230-526]
全体(375 施設)　609 床 [476-800]

3.2.3 各施設における HCU§の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
61.6% (231 施設)	38.4% (144 施設)

§ハイケアユニット入院管理料 1,2、脳卒中ケアユニット入院医療管理料

3.2.4 他の施設認定等 (375 施設)

救命救急センターのみ　5.3%(20 施設)
救急科専門医研修施設※のみ　13.6%(52 施設)
救命救急センターと救急科専門医研修施設※　32.5%(122 施設)
該当なし　48.5%(182 施設)

※ 日本専門医機構認定

3.2.5 重症患者対応体制強化加算の算定有無

特定集中治療室管理料 1 または 2 (202 施設)　22.8%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)　15.9%
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)　23.5%
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　0.0%
全体(371 施設)　20.5%

3.2.6 病棟薬剤業務実施加算2の算定有無

特定集中治療室管理料 1 または 2 (202 施設)　70.8%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)　54.5%
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)　76.5%
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　30.8%
全体(371 施設)　66.6%

3.2.7 早期栄養介入管理加算の算定有無

特定集中治療室管理料 1 または 2 (202 施設) 71.8%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設) 55.7%
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設) 36.8%
小児特定集中治療室管理料 (13 施設) 7.7%
全体(371 施設) 59.3%

3.2.8 早期離床・リハビリテーション加算の算定有無

特定集中治療室管理料 1 または 2 (202 施設) 84.2%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設) 64.8%
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設) 58.8%
小児特定集中治療室管理料 (13 施設) 38.5%
全体(371 施設) 73.3%

3.2.9 重症患者初期支援充実加算の算定有無

特定集中治療室管理料 1 または 2 (202 施設) 50.5%
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設) 43.2%
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設) 42.6%
小児特定集中治療室管理料 (13 施設) 7.7%
全体(371 施設) 45.8%

3.2.10 院内の RRS(Rapid Response System)

	RRS があり、ICU スタッフ※が RRT または MET に関与している	RRS はあるが、ICU スタッフ※は RRT または MET に関与していない	RRS はない
特定集中治療管理料 1,2 (203 施設)	76.4%(155 施設)	10.8%(22 施設)	12.8%(26 施設)
特定集中治療管理料 3,4 (89 施設)	61.8% (55 施設)	7.9% (7 施設)	30.3%(27 施設)
救命救急入院料 2,4 (69 施設)	73.9% (51 施設)	10.1% (7 施設)	15.9%(11 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	61.5% (8 施設)	15.4% (5 施設)	23.1% (3 施設)
全体 (374 施設)	71.9%(269 施設)	10.2%(38 施設)	17.9%(67 施設)

※ 当該集中治療部に所属する医師もしくは看護師

3.3 加算病床数(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.3.1 加算病床数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (204 施設) 10 床 [8-14]、 前年比±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設) 8 床 [6-10]、 前年比±0
救命救急入院料 2 または 4 (69 施設) 10 床 [8-12]、 前年比±0
小児特定集中治療室管理料(13 施設) 12 床 [8-15]、 前年比±0

全体(375 施設)　10 床 [8-14]、 前年比±0

3.3.2 病院 100 床あたりの加算病床数(研修施設の主な医療保険区分の加算病床に限定)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (204 施設)　1.65 床 [1.26-2.14]、前年比 +0.06

特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)　1.60 床 [1.19-2.10]、前年比 -0.08

救命救急入院料 2 または 4 (69 施設)　1.59 床 [1.00-2.21]、前年比 -0.05

小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　4.00 床 [1.74-4.37]、前年比 ±0.0

※ 「(研修施設の加算病床数/病院病床数)×100 床」より算出

3.3.3 病院 100 床あたりの加算病床数

研修施設の加算病床数(375 施設)　1.68 床 [1.24-2.29]、前年比 +0.05

病院全体の加算病床数(375 施設)　2.29 床 [1.67-3.35]、前年比 -0.04

病院全体の加算病床と HCU の合計(374 施設) 5.24 床 [3.85-7.11]、前年比 +0.06

※ 「(病床数/病院病床数)×100 床」より算出

3.4 集中治療室の概要(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.4.1 当該集中治療室の責任者が集中治療専門医である割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (204 施設)　86.3%

特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)　88.8%

救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)　79.7%

小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　92.3%

全体(375 施設)　85.9%

3.4.2 当該集中治療室の個室割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (204 施設)　37.5% [25.0-63.8]、前年比 +1.20

特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)　30.0% [18.3-50.0]、前年比 -1.50

救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)　40.0% [20.0-50.0]、前年比 ±0.0

小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　25.0% [21.8-40.2]、前年比 -8.30

全体(374 施設)　35.0% [20.2-58.3]、前年比 +1.70

3.4.3 当該集中治療室における陰圧病床の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
80.7% (302 施設)	19.3% (72 施設)

3.4.4 当該集中治療室における陰圧病床数(施設中央値)と割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (204 施設)　2 床 [1-3]、 16.7% [7.9-25.0]

特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)　1 床 [1-2]、 16.7% [6.6-25.0]

救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)　2 床 [1-4]、 20.0% [6.7-40.0]

小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　3 床 [1-5]、 21.4% [8.3-31.3]

全体(374 施設)　2 床 [1-3]、 16.7% [7.9-27.7]

3.4.5 集中治療室の総延べ床面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (194 施設)　63.4 m^2/床 [42.4-81.9]、前年比 +1.9

特定集中治療室管理料 3 または 4 (84 施設)　46.1 m^2/床 [33.8-62.4]、前年比 -0.6
救命救急入院料 2 または 4 (61 施設)　47.3 m^2/床 [32.4-72.1]、前年比 +1.9
小児特定集中治療室管理料 (11 施設)　76.0 m^2/床 [24.5-98.4]、前年比 +23.9
全体(350 施設)　55.3 m^2/床 [37.8-79.0]、前年比 +2.9

3.4.6 個室病床の平均面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (193 施設)　21.7 m^2/床 [20.4-24.0]、前年比 -0.3
特定集中治療室管理料 3 または 4 (80 施設)　18.6 m^2/床 [16.1-21.4]、前年比 -0.4
救命救急入院料 2 または 4 (57 施設)　18.8 m^2/床 [16.2-21.4]、前年比 ±0
小児特定集中治療室管理料 (12 施設)　20.5 m^2/床 [18.2-21.7]、前年比 -0.5
全体(342 施設)　21.0 m^2/床 [18.7-23.1]、前年比 ±0

3.4.7 オープン病床の平均面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (174 施設)　21.4 m^2/床 [20.4-23.4]、前年比 -0.1
特定集中治療室管理料 3 または 4 (77 施設)　18.0 m^2/床 [15.9-22.1]、前年比 -0.2
救命救急入院料 2 または 4 (54 施設)　18.5 m^2/床 [15.7-22.3]、前年比 -0.3
小児特定集中治療室管理料 (12 施設)　20.8 m^2/床 [18.5-23.9]、前年比 -2.7
全体(317 施設)　20.8 m^2/床 [18.5-23.9]、前年比 -0.2

3.4.8 集中治療室の器材室の面積(1 病床あたり)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (192 施設)　3.1 m^2/床 [1.9-5.0]、前年比 ±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (78 施設)　2.5 m^2/床 [1.6-4.4]、前年比 -0.3
救命救急入院料 2 または 4 (57 施設)　2.8 m^2/床 [1.7-5.1]、前年比 +0.1
小児特定集中治療室管理料 (11 施設)　1.8 m^2/床 [0.9-3.7]、前年比 -05
全体(338 施設)　3.0 m^2/床 [1.7-5.0]、前年比 ±0

3.4.9 主な形態 (上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

General ICU	Emergency ICU	Surgical ICU	Pediatric ICU	Coronary care unit	Medical ICU	その他
67.7% (254 施設)	17.3% (65 施設)	5.6% (21 施設)	5.3% (20 施設)	1.3% (5 施設)	0.5% (2 施設)	2.1% (8 施設)

3.4.10 運用体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation	No critical care physician
特定集中治療管理料 1,2 (204 施設)	21.1% (-3.1%) (43 施設)	47.4% (+10%) (117 施設)	28.4% (-6.8%) (44 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)
特定集中治療管理料 3,4 (89 施設)	6.7% (-0.8%) (6 施設)	45.2% (+6.5%) (46 施設)	47.3% (-5.7%) (37 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)
救命救急入院料 2,4 (69 施設)	40.6% (+0.6%) (28 施設)	34.8% (+3.4%) (24 施設)	24.6% (-4.0%) (17 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	61.5% (-26.0%) (8 施設)	38.5% (+38.5%) (5 施設)	0.0% (-12.5%) (0 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)
全体 (375 施設)	22.7% (-1.7%) (85 施設)	51.2% (+8.5%) (192 施設)	26.1% (-6.8%) (98 施設)	0.0% (±0%) (0 施設)

※ (±○%)は前年比

Closed ICU (集中治療医が治療方針をすべて決定する)

Mandatory critical care consultation (集中治療医は全患者に介入する)

Elective critical care consultation (主治医から依頼があった患者のみ、集中治療医は介入する)

No critical care physician (集中治療医がいない)

3.4.11 重症部門システム導入の有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
64.7% (242 施設)	35.3% (132 施設)

3.4.12 重症部門システムのメーカー(241 施設)

フィリップス 40.7% (98 施設)

日本光電 21.6% (52 施設)

富士通 15.4% (37 施設)

フクダ電子 8.3% (20 施設)

富士フィルム 7.9% (19 施設)

その他 6.2% (15 施設)

3.4.13 重症部門システムと JIPAD の連携有無(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

有り	無し
31.7% (76 施設)	68.3% (164 施設)

3.5 医師の診療体制(中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数])

3.5.1 集中治療室に勤務する専従・専任医の人数(上段:全施設の合計, 下段:各施設の中央値)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
専従医	1492 人/340 施設 2 人[1-6]	1743 人/355 施設 3 人[1-7]	1845 人/366 施設 3 人[1-7]	1944 人/375 施設 3 人[2-7]
専任医	1057 人/337 施設 1 人[0-4]	1451 人/349 施設 1 人[0-5]	1257 人/362 施設 1 人[0-5]	1197 人/374 施設 1 人[0-4]
専従医＋専任医	2531 人/337 施設 6 人[3-10]	2855 人/332 施設 7 人[3-11]	3058 人/362 施設 6 人[3-12]	3134 人/374 施設 6 人[3-12]

※ 専従医:業務時間の 80%以上かつ週 4 日以上 32 時間以上を集中治療室で勤務

※ 専任医:専従医に該当しないが、業務時間の 50%以上かつ週 20 時間以上を集中治療室で勤務
(いずれも手術室での麻酔業務、救急外来での診療は含めない)

※ 「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は除外した

3.5.2 専従・専任医が所有する専門医資格(上段:該当者の割合、下段:該当者の人数)

	集中治療専門医	救急科専門医	麻酔科専門医	小児科専門医	左記以外

専従医 (1944 人)	28.7% (804 人)	26.8% (752 人)	17.3% (486 人)	5.6% (157 人)	21.6% (606 人)
専任医 (1197 人)	15.7% (212 人)	17.0% (229 人)	25.9% (350 人)	1.6% (22 人)	39.7% (536 人)

※ 重複資格を含む

3.5.3 集中治療室に勤務する専従・専任医の運用体制別の人数(上段:各施設の中央値、下段:回答施設数)

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation
専従医	8 人[3-13] (85 施設)	3 人[2-6] (192 施設)	2 人[1-3] (98 施設)
専任医	1 人[0-6] (85 施設)	1 人[0-4] (191 施設)	1 人[0-3] (98 施設)
専従医＋専任医	11 人[8-16] (85 施設)	6 人[3-11] (191 施設)	4 人[2-6] (98 施設)

※ 「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は除外した

3.5.4 集中治療室に勤務する専従・専任医のうち、集中治療専門医人数(上段:全施設の合計, 下段:各施設の中央値)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
専従医	627 人/340 施設 1 人[1-2]	708 人/354 施設 1 人[1-3]	750 人/366 施設 2 人[1-3]	804 人/375 施設 2 人[1-3]
専任医	214 人/338 施設 0 人[0-1]	232 人/333 施設 0 人[0-1]	261 人/366 施設 0 人[0-1]	212 人/374 施設 0 人[0-1]
専従医＋専任医	832 人/337 施設 2 人[1-3]	864 人/331 施設 2 人[1-3]	1011 人/366 施設 2 人[1-3]	1014 人/374 施設 2 人[1-4]

※ 「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は除外した

3.5.5 集中治療室に勤務する専従・専任医のうち、運用体制別の集中治療専門医人数(上段:各施設の中央値、下段:回答施設数)

	Closed ICU	Mandatory critical care consultation	Elective critical care consultation
専従医	3 人[1-4] (85 施設)	2 人[1-3] (192 施設)	1 人[1-2] (98 施設)
専任医	0 人[0-1] (85 施設)	0 人[0-1] (191 施設)	0 人[0-1] (98 施設)
専従医＋専任医	3 人[2-5] (85 施設)	2 人[1-3] (191 施設)	2 人[1-2] (98 施設)

※ 「専従医+専任医」については、専従医もしくは専任医のいずれかのデータが欠損している施設は除外した

3.5.6 各時間帯に勤務する医師数(医療保険区分別)

	平日			土日祝日		
	午前 10 時	午後 8 時	午前 4 時	午前 10 時	午後 8 時	午前 4 時
特定集中治療室管理料 1 または 2（204 施設）	3.0 人 [2.0-4.9]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	2.0 人 [1.0-3.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-2.0]
特定集中治療室管理料 3 または 4（89 施設）	2.0 人 [2.0-3.0]	1.0 人 [1.0-1.0]	1.0 人 [1.0-1.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-1.8]	1.0 人 [1.0-1.0]
救命救急入院料 2 または 4（69 施設）	4.0 人 [2.5-6.0]	2.0 人 [1.0-2.0]	2.0 人 [1.0-2.0]	3.0 人 [2.0-4.0]	2.0 人 [1.0-2.0]	2.0 人 [1.0-2.0]
小児特定集中治療室 管理料（13 施設）	6.0 人 [4.0-8.5]	2.0 人 [1.5-3.5]	2.0 人 [1.0-3.0]	3.0 人 [2.0-4.0]	2.0 人 [1.0-3.0]	2.0 人 [1.0-3.0]
全体 (375 施設)	3.0 人 [2.0-5.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	2.0 人 [1.0-3.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-2.0]

※ 初期研修医は除く

3.5.7 各時間帯に勤務する医師数(運用体制別)

	平日			土日祝日		
	午前 10 時	午後 8 時	午前 4 時	午前 10 時	午後 8 時	午前 4 時
Closed (85 施設)	5.0 人 [3.0-6.0]	2.0 人 [1.0-3.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	3.0 人 [2.0-4.0]	2.0 人 [1.0-3.0]	1.0 人 [1.0-2.0]
Mandatory (192 施設)	3.0 人 [2.0-4.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	2.0 人 [1.0-3.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-2.0]
Elective (98 施設)	2.0 人 [1.4-3.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	2.0 人 [1.0-1.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-1.0]	1.0 人 [1.0-1.0]
全体 (375 施設)	3.0 人 [2.0-5.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	2.0 人 [1.0-3.0]	1.0 人 [1.0-2.0]	1.0 人 [1.0-2.0]

※ 初期研修医は除く

3.5.8 医師勤務体制（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

2交代 (8-17,17-8 等)	2 交代 (12 時間毎)	1交代 (24 時間勤務)	その他
76.2% (285 施設)	6.1% (23 施設)	8.8% (33 施設)	8.8% (33 施設)

3.5.9 24 時間を超える勤務体制※（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

有り	無し
28.0% (105 施設)	72.0% (270 施設)

※ 例：日勤→夜勤→日勤

3.6 看護師の診療体制（中央値［第 1 四分位数-第 3 四分位数］、中央値の前年比）

3.6.1 看護師の他部署との兼任の有無（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

有り	無し

18.0% (67 施設)	82.0% (306 施設)

3.6.2 専門・認定看護師の人数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	0 人	1 人	2 人	3 人以上
急性・重症患者看護専門看護師 (367 施設)	69.8% (256 施設)	24.5% (90 施設)	4.4% (16 施設)	1.4% (5 施設)
集中ケア認定看護師 (370 施設)	38.6% (143 施設)	46.5% (172 施設)	11.1% (41 施設)	3.8% (14 施設)
救急看護認定看護師 (369 施設)	64.5% (247 施設)	26.6% (94 施設)	5.3% (19 施設)	3.6% (9 施設)
クリティカルケア認定看護師 (319 施設)	75.9% (242 施設)	19.7% (63 施設)	3.1% (10 施設)	1.2% (4 施設)
新生児集中ケア認定看護師 (365 施設)	97.5% (356 施設)	1.6% (6 施設)	0.8% (3 施設)	0.0% (0 施設)
小児救急看護認定看護師 (366 施設)	94.8% (347 施設)	4.9% (18 施設)	0.3% (1 施設)	0.0% (0 施設)
小児プライマリケア認定看護師 (312 施設)	99.7% (311 施設)	0.3% (1 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)
特定行為研修 8 区分修了看護師 (368 施設)	67.4% (248 施設)	17.7% (65 施設)	9.0% (33 施設)	6.0% (22 施設)

3.6.3 専門・認定看護師の合計※人数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上
46.6% (144 施設)	37.5% (116 施設)	10.0% (31 施設)	3.9% (12 施設)	1.0% (3 施設)	1.0% (3 施設)

※ 3.6.2 における専門・認定・8 区分修了看護師(いずれかのデータが欠損している施設は除外)

3.6.4 加算病床 2 床当たりの看護師配置人数∫

特定集中治療室管理料 1 または 2 (186 施設)　1.41 人 [1.23-1.61]、前年比 -0.08

特定集中治療室管理料 3 または 4 (80 施設)　1.16 人 [1.16-1.55]、前年比 +0.17

救命救急入院料 2 または 4 (55 施設)　1.43 人 [1.24-1.62]、前年比 -0.19

小児特定集中治療室管理料 (12 施設)　1.37 人 [1.08-1.51]、前年比 +0.09

全体(333 施設)　1.38 人 [1.22-1.60]、前年比 +0.02

∫ 施設毎の「(看護師の 8 月延べ勤務時間数の合計∫∫／(加算病床数 × 31 日 × 24 時間))× 2 床」より算出

∫∫ 入院基本料等の施設基準に係わる届出添付書類(様式 9)の 4.勤務実績表から抜粋

3.6.5 各時間帯に勤務する看護師数(加算病床 2 床当たり)

	平日			土日祝日		
	午前 10 時	午後 8 時	午前 4 時	午前 10 時	午後 8 時	午前 4 時
特定集中治療室管理料 1 または 2 (204 施設)	2.00 人 [1.60-2.50]	1.00 人 [1.00-1.20]	1.00 人 [1.00-1.11]	1.50 人 [1.20-1.85]	1.00 人 [1.00-1.12]	1.00 人 [1.00-1.07]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (89 施設)	2.00 人 [1.58-2.50]	1.00 人 [1.00-1.17]	1.00 人 [1.00-1.09]	1.33 人 [1.10-1.71]	1.00 人 [1.00-1.01]	1.00 人 [1.00-1.00]
救命救急入院料 2 または 4 (67 施設)	1.80 人 [1.50-2.50]	1.00 人 [1.00-1.27]	1.00 人 [1.00-1.25]	1.50 人 [1.30-2.00]	1.00 人 [1.00-1.25]	1.00 人 [1.00-1.20]

小児特定集中治療室管理料（13 施設）	2.22 人 [1.40-2.62]	1.00 人 [0.88-1.00]	1.00 人 [0.88-1.00]	1.71 人 [1.20-2.14]	1.00 人 [0.88-1.00]	1.00 人 [0.88-1.00]

※ 施設毎の「（各時間帯で勤務するおおよその看護師数／加算病床数） × 2 床 」より算出

3.6.6 当該集中治療室の看護師の月平均夜勤時間

特定集中治療室管理料 1 または 2（172 施設） 80.0 時間/月 [71.2-89.0]

特定集中治療室管理料 3 または 4（69 施設） 80.8 時間/月 [72.2-90.0]

救命救急入院料 2 または 4（51 施設） 81.0 時間/月 [71.3-90.3]

小児特定集中治療室管理料（12 施設） 69.1 時間/月 [54.0-82.3]

全体（304 施設） 80.0 時間/月 [71.0-89.1]

3.6.7 看護師勤務体制（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

2交代（夜勤 1 回あたり 16 時間以上）	2 交代（夜勤 1 回あたり 16 時間未満）	3 交代	その他
36.2%（135 施設）	35.4%（132 施設）	24.7%（92 施設）	3.8%（14 施設）

3.7 臨床工学技士の診療体制

3.7.1 平日・日勤の専従体制（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2（202 施設）	55.9%（113 施設）	19.8%（40 施設）	24.3%（49 施設）	0.0%（0 施設）
特定集中治療室管理料 3 または 4（88 施設）	28.4%（25 施設）	19.3%（17 施設）	46.6%（41 施設）	5.7%（5 施設）
救命救急入院料 2 または 4（69 施設）	30.4%（21 施設）	24.6%（17 施設）	42.0%（29 施設）	2.9%（2 施設）
小児特定集中治療室管理料（13 施設）	23.1%（3 施設）	15.4%（2 施設）	53.8%（7 施設）	7.7%（1 施設）
全体（372 施設）	43.5%（162 施設）	20.4%（76 施設）	33.9%（126 施設）	2.2%（8 施設）

※ 専従：1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任：1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任：1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.7.2 平日・日勤に専従勤務している臨床工学技士の人数∫

特定集中治療室管理料 1 または 2（113 施設） 1.0 人 [1.0-2.0]

特定集中治療室管理料 3 または 4（25 施設） 1.0 人 [1.0-2.0]

救命救急入院料 2 または 4（21 施設） 1.0 人 [1.0-2.0]

小児特定集中治療室管理料（3 施設） 4.0 人 [1.0-5.0]

全体（157 施設） 1.0 人 [1.0-2.0]

∫ 3.7.1 で専従体制のある施設に限定

3.7.3 平日・夜勤の専従体制（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (202 施設)	23.8% (48 施設)	19.3% (39 施設)	55.9% (113 施設)	1.0% (2 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	5.7% (5 施設)	11.4% (10 施設)	52.3% (46 施設)	30.7% (27 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	13.2% (9 施設)	5.9% (4 施設)	66.2% (45 施設)	14.7% (10 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	15.4% (2 施設)	0.0% (0 施設)	53.8% (7 施設)	30.8% (4 施設)
全体 (371 施設)	17.3% (64 施設)	14.3% (53 施設)	56.9% (211 施設)	11.6% (43 施設)

3.7.4 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (202 施設)	27.7% (56 施設)	14.9% (30 施設)	56.4% (114 施設)	1.0% (2 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	12.5% (11 施設)	8.0% (7 施設)	55.7% (49 施設)	23.9% (21 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (69 施設)	17.4% (12 施設)	10.1% (7 施設)	63.8% (44 施設)	8.7% (6 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	7.7% (1 施設)	0.0% (0 施設)	53.8% (7 施設)	38.5% (5 施設)
全体 (372 施設)	21.5% (80 施設)	11.8% (44 施設)	57.5% (214 施設)	9.1% (34 施設)

3.7.5 土日祝日・日勤に専従勤務している臨床工学技士の人数∫

特定集中治療室管理料 1 または 2 (56 施設)　1.0 人 [1.0-1.0]

特定集中治療室管理料 3 または 4 (11 施設)　1.0 人 [1.0-2.0]

救命救急入院料 2 または 4 (11 施設)　1.0 人 [1.0-2.0]

小児特定集中治療室管理料 (1 施設)　1.0 人 [1.0-1.0]

全体(79 施設)　1.0 人 [1.0-1.0]

∫ 3.7.4 で専従体制のある施設に限定

3.7.6 土日祝日・夜勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	21.2% (43 施設)	18.2% (37 施設)	59.6% (121 施設)	1.0% (2 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	6.8% (6 施設)	9.1% (8 施設)	54.5% (48 施設)	29.5% (26 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	13.2% (9 施設)	4.4% (3 施設)	64.7% (44 施設)	17.6% (12 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	7.7% (1 施設)	0.0% (0 施設)	53.8% (7 施設)	38.5% (5 施設)
全体 (372 施設)	15.9% (59 施設)	12.9% (48 施設)	59.1% (220 施設)	12.1% (45 施設)

3.7.7 当該集中治療室の診療に関与している認定集中治療関連臨床工学技士(日本臨床工学技士会)の人数

特定集中治療室管理料 1 または 2（190 施設）　0.0 人 [0.0-1.0]
特定集中治療室管理料 3 または 4（83 施設）　0.0 人 [0.0-1.0]
救命救急入院料 2 または 4（62 施設）　0.0 人 [0.0-1.0]
小児特定集中治療室管理料（12 施設）　0.0 人 [0.0-0.5]
全体（319 施設）　0.0 人 [0.0-1.0]

3.8 薬剤師の診療体制

3.8.1 平日・日勤の専従体制（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 （203 施設）	28.1% （57 施設）	42.9% （87 施設）	23.2% （47 施設）	5.9% （12 施設）
特定集中治療室管理料 3 または 4 （88 施設）	20.5% （18 施設）	44.3% （39 施設）	28.4% （25 施設）	6.8% （6 施設）
救命救急入院料 2 または 4 （69 施設）	21.7% （15 施設）	56.5% （39 施設）	21.7% （15 施設）	0.0% （0 施設）
小児特定集中治療室管理料 （13 施設）	23.1% （3 施設）	15.4% （2 施設）	53.8% （7 施設）	7.7% （1 施設）
全体 （373 施設）	24.9% （93 施設）	44.8% （167 施設）	25.2% （94 施設）	5.1% （19 施設）

※ 専従：1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務
※ 専任：1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務
※ 兼任：1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務
いずれも、日替わり勤務を含む

3.8.2 平日・夜勤の専従体制（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 （203 施設）	1.5% （3 施設）	3.9% （8 施設）	37.4% （76 施設）	57.1% （116 施設）
特定集中治療室管理料 3 または 4 （88 施設）	0.0% （0 施設）	0.0% （0 施設）	46.6% （41 施設）	53.4% （47 施設）
救命救急入院料 2 または 4 （68 施設）	1.5% （1 施設）	1.5% （1 施設）	47.1% （32 施設）	50.0% （34 施設）
小児特定集中治療室管理料 （13 施設）	0.0% （0 施設）	0.0% （0 施設）	30.8% （4 施設）	69.2% （9 施設）
全体 （372 施設）	1.1% （4 施設）	2.4% （9 施設）	41.1% （153 施設）	55.4% （206 施設）

3.8.3 土日祝日・日勤の専従体制（上段：該当施設の割合、下段：該当施設の数）

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 （203 施設）	2.5% （5 施設）	5.9% （12 施設）	42.9% （87 施設）	48.8% （99 施設）
特定集中治療室管理料 3 または 4 （88 施設）	2.3% （2 施設）	1.1% （1 施設）	52.3% （46 施設）	44.3% （39 施設）
救命救急入院料 2 または 4 （69 施設）	4.3% （3 施設）	4.3% （3 施設）	56.5% （39 施設）	34.8% （24 施設）

小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	30.8% (4 施設)	69.2% (9 施設)
全体 (373 施設)	2.7% (10 施設)	4.3% (16 施設)	47.2% (176 施設)	45.8% (171 施設)

3.8.4 土日祝日・夜勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	0.5% (1 施設)	3.4% (7 施設)	38.4% (78 施設)	57.6% (117 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	1.1% (1 施設)	0.0% (0 施設)	45.5% (40 施設)	53.4% (47 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	1.5% (1 施設)	1.5% (1 施設)	47.1% (32 施設)	50.0% (34 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	30.8% (4 施設)	69.2% (9 施設)
全体 (372 施設)	0.8% (3 施設)	2.2% (8 施設)	41.4% (154 施設)	55.6% (207 施設)

3.9 理学療法士の診療体制

3.9.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	27.6% (56 施設)	33.0% (67 施設)	38.4% (78 施設)	1.0% (2 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	22.7% (20 施設)	29.5% (26 施設)	39.8% (35 施設)	8.0% (7 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (69 施設)	15.9% (11 施設)	36.2% (25 施設)	40.6% (28 施設)	7.2% (5 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	7.7% (1 施設)	7.7% (1 施設)	84.6% (11 施設)	0.0% (0 施設)
全体 (373 施設)	23.6% (88 施設)	31.9% (119 施設)	40.8% (152 施設)	3.8% (14 施設)

※ 専従: 1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任: 1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任: 1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.9.2 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	11.8% (24 施設)	20.7% (42 施設)	31.5% (64 施設)	36.0% (73 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	10.2% (9 施設)	25.0% (22 施設)	29.5% (26 施設)	35.2% (31 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (69 施設)	5.8% (4 施設)	23.2% (16 施設)	30.4% (21 施設)	40.6% (28 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	46.2% (6 施設)	53.8% (7 施設)

全体 (373 施設)	9.9% (37 施設)	21.4% (80 施設)	31.4% (117 施設)	37.3% (139 施設)

3.10 作業療法士の診療体制

3.10.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	3.4% (7 施設)	7.4% (15 施設)	51.2% (104 施設)	37.9% (77 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	2.3% (2 施設)	8.0% (7 施設)	63.6% (56 施設)	26.1% (23 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	1.5% (1 施設)	10.3% (7 施設)	75.0% (51 施設)	13.2% (9 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	76.9% (10 施設)	23.1% (3 施設)
全体 (372 施設)	2.7% (10 施設)	7.8% (29 施設)	59.4% (221 施設)	30.1% (112 施設)

※ 専従: 1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任: 1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任: 1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.10.2 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	1.0% (2 施設)	3.4% (7 施設)	32.5% (66 施設)	63.1% (128 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	1.1% (1 施設)	5.7% (5 施設)	35.2% (31 施設)	58.0% (51 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	1.5% (1 施設)	1.5% (1 施設)	47.1% (32 施設)	50.0% (34 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	23.1% (3 施設)	76.9% (10 施設)
全体 (372 施設)	1.1% (4 施設)	3.5% (13 施設)	35.5% (132 施設)	59.9% (223 施設)

3.11 言語聴覚士の診療体制

3.11.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	0.5% (1 施設)	6.4% (13 施設)	60.6% (123 施設)	32.5% (66 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	0.0% (0 施設)	6.8% (6 施設)	62.5% (55 施設)	30.7% (27 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	0.0% (0 施設)	1.5% (1 施設)	79.4% (54 施設)	19.1% (13 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	69.2% (9 施設)	30.8% (4 施設)

全体 (372 施設)	0.3% (1 施設)	5.4% (20 施設)	64.8% (241 施設)	29.6% (110 施設)

※ 専従: 1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任: 1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任: 1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.11.2 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	0.0% (0 施設)	3.4% (7 施設)	32.0% (65 施設)	64.5% (131 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	0.0% (0 施設)	3.4% (3 施設)	30.7% (27 施設)	65.9% (58 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	0.0% (0 施設)	1.5% (1 施設)	47.1% (32 施設)	51.5% (35 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	23.1% (3 施設)	76.9% (10 施設)
全体 (372 施設)	0.0% (0 施設)	3.0% (11 施設)	34.1% (127 施設)	62.9% (234 施設)

3.12 管理栄養士の診療体制

3.12.1 平日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	14.3% (29 施設)	34.5% (70 施設)	37.9% (77 施設)	13.3% (27 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	6.8% (6 施設)	26.1% (23 施設)	45.5% (40 施設)	21.6% (19 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	2.9% (2 施設)	22.1% (15 施設)	52.9% (36 施設)	22.1% (15 施設)
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	61.5% (8 施設)	38.5% (5 施設)
全体 (372 施設)	9.9% (37 施設)	29.0% (108 施設)	43.3% (161 施設)	17.7% (66 施設)

※ 専従: 1 日における業務時間の 80%以上が、集中治療室での勤務

※ 専任: 1 日における業務時間の 50%以上 80%未満が、集中治療室での勤務

※ 兼任: 1 日における業務時間の 50%未満が、集中治療室での勤務

いずれも、日替わり勤務を含む

3.12.2 土日祝日・日勤の専従体制(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

	専従	専任	兼任	関与なし
特定集中治療室管理料 1 または 2 (203 施設)	3.4% (7 施設)	7.4% (15 施設)	23.2% (47 施設)	66.0% (134 施設)
特定集中治療室管理料 3 または 4 (88 施設)	0.0% (0 施設)	5.7% (5 施設)	34.1% (30 施設)	60.2% (53 施設)
救命救急入院料 2 または 4 (68 施設)	1.5% (1 施設)	4.4% (3 施設)	38.2% (26 施設)	55.9% (38 施設)

小児特定集中治療室管理料 (13 施設)	0.0% (0 施設)	0.0% (0 施設)	23.1% (3 施設)	76.9% (10 施設)
全体 (372 施設)	2.2% (8 施設)	6.2% (23 施設)	28.5% (106 施設)	63.2% (235 施設)

3.13 患者動態(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.10.1 加算病床あたりの年間総入室患者数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (202 施設)　71.9 人／床　[54.7-90.4]、前年比 + 2.7

特定集中治療室管理料 3 または 4 (86 施設)　69.1 人／床　[55.2-92.1]、前年比 + 0.2

救命救急入院料 2 または 4 (65 施設)　60.0 人／床　[42.5-84.3]、前年比 + 0.2

小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　38.5 人／床　[31.6-45.4]、前年比 - 2.1

全体(366 施設)　68.1 人／床　[50.9-89.3]、前年比 + 1.3

※ 施設毎の「(総入室患者数／加算病床数)」より算出

3.10.2 加算病床あたりの年間延べ在室日数

特定集中治療室管理料 1 または 2 (196 施設)　292 日／床　[253-344]、前年比 - 3

特定集中治療室管理料 3 または 4 (82 施設)　276 日／床　[227-339]、前年比 + 6

救命救急入院料 2 または 4 (58 施設)　275 日／床　[236-327]、前年比 -24

小児特定集中治療室管理料 (12 施設)　263 日／床　[212-286]、前年比 +10

全体(348 施設)　288 日／床　[246-336]、前年比 - 5

※ 在室日数は (退室日 - 入室日)+1 日 で計算

※ 施設毎の「(総在室日数／加算病床数)」より算出

3.10.3 年間あたりの広範囲熱傷患者数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人以上
68.1% (248 施設)	11.5% (42 施設)	6.3% (23 施設)	4.1% (15 施設)	2.7% (10 施設)	1.6% (6 施設)	1.6% (6 施設)	1.4% (5 施設)	2.5% (9 施設)

全体(364 施設)　0 人[0-1]

3.10.4 集中治療室管理料または救命救急入院料の非算定日数の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (171 施設)　12.4% [7.0-22.9]、 前年比 ±0

特定集中治療室管理料 3 または 4 (69 施設)　11.3% [3.6-24.4]、 前年比 -1.0

救命救急入院料 2 または 4 (49 施設)　21.4% [9.0-30.5]、 前年比 -0.7

小児特定集中治療室管理料 (8 施設)　28.2% [24.6-46.5]、前年比 +0.7

全体(297 施設)　13.4% [6.9-24.8]、 前年比 -0.4

※ 施設毎の「管理料非算定となった年間延べ在室日数／年間延べ在室日数)」より算出

3.11 治療介入の実施数(中央値[第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比)

3.11.1 人工呼吸器使用患者(NPPV は含めない)の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	人工呼吸器装着患者数
345 施設 (前年比 +11)	4,051 床 (前年比 +130)	98,737 人 (前年比 +2,584)

3.11.2 人工呼吸器使用患者(NPPV は含めない)の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (189 施設)　37.0% [25.2-52.8]、前年比 -4.3
特定集中治療室管理料 3 または 4 (83 施設)　32.1% [19.8-43.7]、前年比 +2.6
救命救急入院料 2 または 4 (61 施設)　42.4% [22.7-59.5]、前年比 +2.6
小児特定集中治療室管理料 (12 施設)　62.0% [39.4-49.3]、前年比 +19.7
全体(345 施設)　37.5% [25.0-52.3]、前年比 -0.1

※ 施設毎の「人工呼吸器使用患者数(NPPV 含めず)／年間入室の総患者数)」より算出

3.11.3 血液浄化療法実施患者の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	血液浄化療法実施患者数
354 施設 (前年比 +11)	4,132 床 (前年比 +102)	24,641 人 (前年比 -55)

3.11.4 血液浄化法実施患者(CHDF,HD,PMX-HP,PE など)の割合

特定集中治療室管理料 1 または 2 (195 施設)　8.0% [5.2-12.1]、前年比 -0.3
特定集中治療室管理料 3 または 4 (83 施設)　6.9% [3.5-10.3]、前年比 -0.4
救命救急入院料 2 または 4 (63 施設)　6.9% [4.6-10.9]、前年比 -1.5
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　1.6% [1.0-2.4]、 前年比 +0.3
全体(354 施設)　7.2% [4.3-11.0]、前年比 -0.8

※ 施設毎の「血液浄化法実施患者数／年間入室の総患者数)」より算出

3.11.5 ECMO(V-A,V-V)実施患者の人数(合計)

回答施設数	集中治療室の病床数	ECMO 実施患者数
362 施設 (前年比 +14)	4,194 床 (前年比 +125)	5,412 人 (前年比 +629)

3.11.6 ECMO(V-A,V-V)実施患者数(各施設の中央値)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (199 施設)　12 人 [5-21]、 前年比 +3
特定集中治療室管理料 3 または 4 (86 施設)　6 人 [1.8-14]、 前年比 ±0
救命救急入院料 2 または 4 (64 施設)　18 人 [8-27]、 前年比 +3
小児特定集中治療室管理料 (13 施設)　6 人 [2.5-9.5]、前年比 ±0
全体(362 施設)　10 人 [4-20]、 前年比 ±0

3.11.7 補助人工心臓使用患者数(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数)

0 人	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人以上
86.7% (307 施設)	2.8% (10 施設)	1.7% (6 施設)	0.8% (3 施設)	0.6% (2 施設)	1.1% (4 施設)	0.0% (0 施設)	0.8% (3 施設)	5.4% (19 施設)

全体(354 施設)　0 人[0-0]

3.11.8 頭蓋内圧(ICP)測定実施患者数 (各施設の中央値)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (185 施設)　0 人 [0-2]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (81 施設)　0 人 [0-0.5]
救命救急入院料 2 または 4 (59 施設)　4 人 [1-13]
小児特定集中治療室管理料 (12 施設)　1 人 [0-2]
全体(337 施設)　0 人 [0-3]

3.11.9 IMPELLA 測定実施患者数 (各施設の中央値)

特定集中治療室管理料 1 または 2 (195 施設)　0 人 [0-4]
特定集中治療室管理料 3 または 4 (85 施設)　0 人 [0-1]
救命救急入院料 2 または 4 (62 施設)　0.5 人 [0-6]
小児特定集中治療室管理料 (12 施設)　1 人 [0-2]
全体(354 施設)　0 人 [0-4]

3.12 重症度評価

3.12.1 重症度評価の実施率(上段:該当施設の割合、下段:該当施設の数/回答施設数)

運用体制	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
Closed ICU	90.7% (78/86 施設)	85.7% (78/91 施設)	83.1% (74/89 施設)	85.9% (73/85 施設)
Mandatory critical care consultation	79.9% (131/164 施設)	79.9% (143/179 施設)	76.1% (118/155 施設)	84.8% (162/191 施設)
Elective critical care consultation	72.9% (62/85 施設)	69.4% (59/85 施設)	75.6% (90/119 施設)	77.3% (75/97 施設)
No critical care physician	66.7% (2/3 施設)	0% (0/0 施設)	0% (0/0 施設)	0% (0/0 施設)
全体	80.8% (273/338 施設)	78.9% (280/355 施設)	77.7% (282/363 施設)	83.1% (310/373 施設)

3.12.2 実施している主な重症度指標　※ 複数選択可

SOFA　58.7%　(219/373 施設)
APACHEⅡ　57.1%　(213/373 施設)
APACHEⅢ　12.1%　(45/373 施設)
APACHEⅣ　0.8%　(3/373 施設)
SAPSⅡ　12.9%　(48/373 施設)
SAPSⅢ　0.3%　(1/373 施設)
PIM2　8.8%　(33/373 施設)
PIM3　9.7%　(36/373 施設)

3.12.3 APACHE II 中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (125 施設)　15 [13-18]、前年比 ±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (28 施設)　14 [12-17]、前年比 ±0
救命救急入院料 2 または 4 (33 施設)　18 [15-20]、前年比 ±0
小児特定集中治療室管理料 (3 施設)　13 [12-14]、前年比 ±0
全体(189 施設)　15 [13-18]、前年比 ±0

3.12.4 SOFA 中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比

特定集中治療室管理料 1 または 2 (96 施設)　4 [3-6]、　前年比 ±0
特定集中治療室管理料 3 または 4 (30 施設)　3 [2.8-4.6]、前年比 -1
救命救急入院料 2 または 4 (18 施設)　5.5 [3.8-7.3]、前年比 +0.5

小児特定集中治療室管理料（2 施設）	4	前年比 ±0
全体（146 施設）	4 [3-6]、	前年比 ±0

3.13 アウトカム（中央値 [第 1 四分位数-第 3 四分位数]、中央値の前年比）

3.13.1 年間 ICU 内死亡率

特定集中治療室管理料 1 または 2（167 施設）	3.9% [2.3-6.1]、	前年比 +0.3
特定集中治療室管理料 3 または 4（59 施設）	4.4% [3.0-6.6]、	前年比 +0.3
救命救急入院料 2 または 4（43 施設）	8.6% [5.8-14.1]、	前年比 -1.3
小児特定集中治療室管理料（12 施設）	1.9% [1.3-2.7]、	前年比 ±0
全体（281 施設）	4.2% [2.6-6.8]、	前年比 -0.1

3.13.2 年間病院内死亡率

特定集中治療室管理料 1 または 2（124 施設）	7.8% [5.0-13.3]、	前年比 -0.2
特定集中治療室管理料 3 または 4（42 設）	7.5% [4.9-10.6]、	前年比 -0.5
救命救急入院料 2 または 4（35 施設）	14.2% [11.1-18.8]、	前年比 +0.3
小児特定集中治療室管理料（8 施設）	2.7% [1.7-3.4]、	前年比 +0.4
全体（209 施設）	8.6% [5.1-13.7]、	前年比 -0.2

3.13.3 予測死亡率に用いた重症度指標

APACHEⅡ	33.1%（123 施設）、	前年比 -2.1%
APACHEⅢ	8.3%（31 施設）、	前年比 +1.3%
APACHEⅣ	0.3%（1 施設）、	前年比 -0.3%
PIM2	0.8%（3 施設）、	前年比 -1.0%
PIM3	5.9%（22 施設）、	前年比 +2.4%
SAPSⅡ	1.1%（4 施設）、	前年比 +0.8%
SAPSⅢ	0.3%（1 施設）、	前年比 +0.3%
未調査	50.3%（187 施設）、	前年比 -1.3%

3.13.4 予測死亡率の年間平均値

特定集中治療室管理料 1 または 2（87 施設）	20.3% 15.7-27.7]、	前年比 ±0
特定集中治療室管理料 3 または 4（23 施設）	21.1% [13.0-27.1]、	前年比 -0.5
救命救急入院料 2 または 4（16 施設）	34.5% [26.3-38.8]、	前年比 +2.8
小児特定集中治療室管理料（8 施設）	3.1% [2.7-3.3]、	前年比 +0.6
全体（134 施設）	21.2% [15.1-29.4]、	前年比 +0.2

3.13.5 標準化死亡比

特定集中治療室管理料 1 または 2（87 施設）	0.41 [0.30-0.59]、	前年比 +0.01
特定集中治療室管理料 3 または 4（23 施設）	0.43 [0.29-0.55]、	前年比 -0.01
救命救急入院料 2 または 4（16 施設）	0.48 [0.36-0.55]、	前年比 +0.04
小児特定集中治療室管理料（8 施設）	0.83 [0.51-1.40]、	前年比 +0.09
全体（134 施設）	0.43 [0.31-0.59]、	前年比 +0.02

まとめ

＊ 集中治療専門医研修施設は 375 施設で（前年度より+9）、全施設から回答を受領した（回収率 100%）。

＊ 医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 1,2 を算定する施設が増加した（前年度より+10）。

＊ 研修施設における集中治療室ベッド数（研修施設）の中央値[IQR]は、病院 100 病床あたりの 1.68 床[1.24-2.29]で、前年度より 0.05 増加していた。病院全体の集中治療室ベッドを合算すると、病院 100 病床あたり 2.29 床[1.67-3.35]となった。さらに HCU も加えると、病院 100 病床あたり 5.24 床[3.85-7.11]であった。

＊ 当該集中治療室責任者の 86%は、集中治療専門医であった。

＊ 集中治療室における個室病床の割合は 35.0%[20.2-58.3]で前年度より 1.7%増加していた。医療保険区分別では救命救急入院料 2,4 で最も高かった。

＊ 集中治療室の総延べ床面積(1 病床あたり）は 55.3m^2/床 [37.3-79.0]で、医療保険区分別では小児特定集中治療室管理料が最も広かった。

＊ 集中治療室の器材室の面積（1 病床あたり）は 3.0m^2/床 [1.7-5.0]で、前年度と同様であった。

＊ 集中治療室に関連する加算算定状況は、早期離床・リハビリテーション加算が 73.3%、早期栄養介入管理加算が 59.3%と比較的高値だが、重症患者対応体制強化加算は 20.5%と低値であった。

＊ 運用体制は昨年度と比べ、Mandatory critical care consultation が増加し(+8.5%)、Elective critical care consultation は減少した（-6.8%）。Closed ICU は 2020 年度から減少傾向で、今年度は 22.7%であった(前年比-1.7%)。

＊ 集中治療室に勤務する専従医の総数は 1944 人(375 施設)で、2019 年度以降は増加傾向が続いている(前年比 +99 人)。専任医の総数は 1197 人(374 施設)で、2020 年度をピークに減少に転じている(前年比-60 人)。

＊ 集中治療室に勤務する専従医・専任医のうち集中治療専門医は総数 1014 人(374 施設)と微増で(前年比+3 人)、内訳は専従医が+54 人、専任医が-48 人であった。1 施設あたりの中央値は 2 人で、運用体制別では Closed ICU 3 人、Mandatory critical care consultation 2 人、Elective critical care consultation 2 人(いずれも中央値)と、昨年度と同じであった。

＊ 看護師の 8 月延べ勤務時間数の合計から算出した、加算病床 2 床当たりの看護師配置人数は 1.38 人／2 床（中央値）で、前年度より微増であった。医療保険区分別では、救命救急 2,4（1.43 人／2 床）と特定集中治療室管理料 1,2（1.41 人／2 床）が高値で、看護師配置が比較的充実していた。

＊ 看護師の月平均夜勤時間の中央値は 80 時間/月で、医療保険区分別では小児特定集中治療室管理料が 69.1 時間(中央値)と他の医療保険区分と比べてやや少なめであった。

＊ 臨床工学技士の平日日勤における診療体制は、専従（43.5%）が最多で、兼任（33.9%）、専任（20.4%）の順であった。平日夜勤では、兼任（56.9%）、専従（17.3%）、専任（14.3%）の順であった。医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 1,2 と救命救急入院料 2,4 で、専従・専任が多かった。

＊ 薬剤師の平日日勤における診療体制は、専任（44.8%）が最多で、兼任（25.2%）、専従（24.9%）の順であった。平日夜勤では、関与無し（55.4%）が半数を占め、兼任（41.1%）、専任（2.4%）、専従（1.1%）の順であった。医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 1,2 と救命救急入院料 2,4 で、専従・専任が多かった。

＊ 理学療法士の平日日勤における診療体制は、兼任（40.8%）が最多で、専任（31.9%）、専従（23.6%）の順で、関与無しは 3.8%のみであった。

＊ 作業療法士の平日日勤における診療体制は、兼任(59.4%)が最多で、関与無しは 30.1%であった。
＊ 言語聴覚士の平日日勤における診療体制は、兼任(65.8%)が最多で、関与無しは 29.6%であった。
＊ 管理栄養士の平日日勤における診療体制は、兼任(43.3%)が最多で、専任(29.0%)、専従(9.9%)の順で、関与無しは 17.7%であった。
＊ 加算病床あたりの年間総入室患者数(施設中央値)は 68.1 人/床で、前年比 +1.3 人/床だった。医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 1-4, 救命救急入院料 2,4 で増加し、小児特定集中治療室管理料では減少していた。
＊ 加算病床あたりの年間延べ在室日数(施設中央値)は 283 日/床で(前年比 -5 日/床)、2020 年度をピークに減少傾向となっている。医療保険区分別では、特定集中治療室管理料 3,4 と小児特定集中治療室管理料では増加していたが、その他の医療保険区分では減少していた。
＊ 施設毎の入院管理料の非算定日数の割合は 13.4%(施設中央値)で、医療保険区分別では小児特定集中治療室管理料が 28.2%、救命救急入院料 2,4 が 21.4%と高値であった。
＊ 人工呼吸器(NPPV 含めず)を使用した患者数は 98,737 人/345 施設で、患者の割合は 37.6%(施設中央値)であった。医療保険区分別では、小児特定集中治療室管理料(62.0%)と救命救急入院料 2,4(42.2%)が高値であった。
＊ 重症度評価の実施率は 83.1%(前年比 +5.8%)で、予測死亡率の調査実施率は 49.7%(前年比 +4.6%)で、いずれも改善していた。
＊ ICU 内死亡率の調査実施率は 76.9%(前年比 -16.5%)で、病院内死亡率の調査実施率は 57.8%(前年比 -20.3%)、大きく低下していた。
＊ 病院内死亡率と予測死亡率から算出した標準化死亡比(134 施設)は前年度と比べ 0.41→0.43(施設中央値)に上昇し、医療保険区分別では特定集中治療室管理料 13,4 で低下し、それ以外の医療保険区分は上昇していた。